

鯿の湖

NPO法人
 長浜観光ボランティア
 ガイド協会
 〒526-0059
 長浜市元浜町14-12
 湖北観光情報センター
 ☎ 0749-65-0370

発行責任者
 馬場 智章
 編集責任者
 宮垣 秀太郎



実りある後半を目指して

理事長 馬場智章



猛暑日と言ふ言葉が連日聞かれた日々が遠くなりましたが、今夏はC社からの竹生島ガイドや街中案内の申し込みをはじめとする「一般ガイド」が多く、猛暑に負けずに頑張っ

て頂いた皆さまのご協力に感謝申し上げます。令和元年度の前半活動で例年にならない事項としては、五村・長浜両別院で行われた親鸞聖人七百五十回御遠忌法要諸行事への協力。今春入会された四人の方の研修と早期独り立ち化。九月に行った淡海観光ボランティアガイド連絡協議会湖北ブロック研修交流会の担当協会として、計画から実施に至る諸活動。今年度新入会員募集計画と勧誘活動など、定例活動と並行して事業部・総務部両部長のもと皆さんのご協力で着実な前進が図れました。

一方ガイド活動において「出勤忘れ」や「制服不着用」など当協会の信頼を失うミスが多発したことは遺憾であり、再発防止に向け今一度見直したい事項です。

十月からの後半活動は今年から秋に行われる曳山巡行（交替式）を皮切りに、「観音の里ふるさとまつり」十一月の「三成祭」と「紅葉シーズン」など大きなイベントに連携したガイドをはじめ、最も忙しい時期となります。更にS社の新企画による外国語（英語）ガイドの実施に向け準備を加速する必要があります。新しいことへの挑戦はそれなりに困難もありますが、当協会が時代にあっただ成長を遂げるためにも、皆さんの『長浜をよくしたい』の想いを一つにして、挑戦しましょう。

私たちの活動はインドリスですが、役員の任期はあと半年です。その間にこの二年間の仕上げと、記録の整備・保存が重要です。両部長を中心に業務の総仕上げの時期に入ります。このような課題を乗り越えるには皆さんの一層のご協力と、ご支援をお願い申し上げます。

令和元年度下半期に向けて

副理事長 木村富久子

季節が、秋色に変わっていることも気付かず暮らしている中、夕方、ふっと立ち止まり見上げた空が青く、高く、西の空にはイワシ雲が泳いでいました。いつも会員の皆さまには、お支えいただき本当にありがとうございます。顧みまると、今年度前半は、五月から、総務部中心で湖北ブロック交流研修会の企画、そして文化塾開講準備と進めてきました。何回も打ち合わせを重ね、案を練り、事業の成功を祈りました。また、事業部は、県外研修の計画として、八月に、大波のように依頼のあったガイド割り付け等、猛暑の中、乗り越えて来ました。

九月十八日実施の、湖北ブロック交流研修会は、三協会が一つになり、交流や、親睦を深めることが出来ました。現地研修で「旧北國街道良かったわ」という声をあちこちから聞いて、とてもうれしくなりました。

充実感と心地よい疲労感と、それから、感謝の気持ちと共に多忙な一日は終わりました。

一方、文化塾では、体験入会を終え、当協会に入会していただいた新会員の方への研修、そして、「長浜V.G協会に入会して良かった」と思われる居心地の良い居場所作りや、充実感を味わってもらえるよう努力したいと思っております。

今年度も、残すところ半年です。みんなで力を合わせ、計画した事業の遂行や、事務処理等積み残すことなく、スムーズにバトンタッチ出来るよう努力したいと思います。

皆さま、後しばらく、よろしくお願い致します。

びわこ二斎清掃に参加して

小川敬子

毎年七月一日は「びわこ清掃」と手帳に書き込んで十年以上……

以前は、波打ち際の沢山のゴミで手に持っていた袋はすべし一杯になりました。「こ」数年は、朝の風の音を聞き時々心地良い滋賀県の風が頬をなでる散歩道になりました。びわこが綺麗になった事、皆様の小さな力はいつも素晴らしいと思います。

我長浜V.Gはガイド案内をするだけでなく、このよつな奉仕作業を、一本柱として今後も続けていきたいし、伝えたしたいと思います。

花火大会後の清掃所感

早津康弘

長浜ボランティアで鯨の湖会の一員として湖岸一帯の清掃作業に行きつくり、何と食べかす・ペットボトル・カクン等が放置散乱していました。昔々の皆様のマナーが良くなったのでしようが、花火を見て感動したのに、花火が終わってしまつと、人は食べた物飲んだ物の後始末が、なぜで出来ていないのでしよう。残念です。花火を楽しみ最後の最後まで感動を共に、自分達のいた場所の後始末をしっかりと帰ってもらいたい、それが出来て本当に楽しい花火大会だと思います。

来年は、皆様のマナーが今年以上によくなる清掃作業に行つた時、何も散乱していない事を期待しています。

「大聖寺展」について

山崎喜世雄

私が住んでいる大門町には、かつて神道山大聖寺という天台宗の寺院がありました。史料には四十八の寺坊があったとする記録があります。元龜争乱のころに兵火に遭い、大部分が焼失したと伝えられています。その後、真言宗に宗旨替えをし、本尊の不動明王を安置する不動堂のみが数軒の信徒に守られて現在まで山間にひっそりとたたずんできました。私は、その不動堂をお守りしてきた信徒の一軒です。

二〇一三年に不動明王坐像は長浜市指定文化財に登録されました。

不動明王坐像は、体高が百三十五センチもあり県内では稀な大きさです。体幹は桐の一木造りで、製作年は平安後期と推定されています。不動明王像のなかでは弘法大師様式とされ、髪型や憤怒の表情、口を噛み締めた表現にその特徴があります。約千年を経て、木像は虫損が進んでいます。

お守りしてきた信徒はこの「お不動さん」をきちんと修復して次世代に伝えたいと考え、これまで細々ながら活動してきましたが、このたび長浜市が像修復の支援事業として、浅井歴史民俗資料館において「大門村にあった寺院・大聖寺」展（十月二十九日から十一月十五日まで）

を開催することになりました。この大聖寺展には、不動明王坐像を除く寺宝のいくつかが展示されます。その一端を紹介しましょう。

十六善神図（二幅）

十二天図（十二幅）

鰐口（大阪市美術館寄託品）

千仏画（三幅）

などです。いずれも末公閑の作品で、興味のある方はぜひ浅井歴史民俗資料館にお運びください。

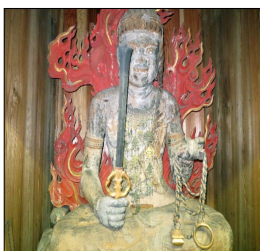
また展示期間中の、

十一月十日 講演会「大聖寺の至宝」講師・坂口泰章学芸員 浅井図書館

十一月十七・二十三日 不動明王坐像特別公開 会場・大聖寺（大門町）

に関連イベントが予定されています。

同時に東京上野公園脇のびわ湖長浜カノンハウスなどで、不動明王坐像の写真展（十一月二十二日まで）、ギャラリートーク、「大聖寺の歴史と文化財」と題した長浜歴史文化講座（以上十二月八日）が予定されています。



令和元年度湖北ブロック

研修会を終えて

宮垣秀太郎

今回の研修会は当協会が企画検討を重ね、皆さんに喜んでいただける事業としたい思いで、担当を始め当協会員が一丸となって取り組んだ研修会でした。

九月十八日木村副理事長の司会で開催された。午前中のセレモニーもスムーズに終了、昼食の時間となった。昼食は長浜商店街の実態も知っていただける機会でもあり、ランチクーポンを取り入れましたが、私たちの心配もど吹く風、何の問題もなく参加者の意見も好評でした。

午後は考え抜いて計画した現地研修です。当協会の会員が総出で一生懸命担当の任務を果たしていただいたおかげで、参加の方々から「楽しかった」と喜んで頂けたこと嬉しく感じました。

当協会の皆さんの協力は、協会にとって大変に大きな力となったと感じました。担当していただいた皆さん本当にご苦労様でした。

(追伸)

アンケート結果は、講演や研修・ランチクーポン、すべての項目で「良かった」と答えていただいております。

湖北ブロック研修会に参加して

藤居きよ子

私が最初に想ったことは、企画担当の方々に「とても素晴らしいです」と、御礼が言いたいです。

ランチクーポンの件について、米原V.Gの方が帰られる時、尋ねてみました。皆さん「良かったですよ、ランチクーポンは食べたものが選べて、行きたいお店に行けて」と言ってくれました。又今回お茶のサービスが無い事を詫びたら「お茶の事は問題にならない位、良かったですよ。」

この言葉を聞いて「ホット」とすると同時に、とても嬉しかったです。身戻りする様で申し訳ないですが、担当して頂きました皆さんには、心からありがとうございます。そして、「お疲れ様でした」と言わせて下さい。



太田学芸専門監講演録(部分)

テーマ「秀吉の築いた城と城下町」

〜長浜城下町の戦国から近世〜

浅井氏が天正元年に滅亡した後秀吉は十二万石を与えられ、ここから長浜城を作り、城下町を作り、城内に様々な政策を施して秀吉が、天下人になった後も基本的な政策を長浜で試行しています。長浜で行った数々の政策が近世(江戸時代)の扉を開いたのではないかと思っております。

江戸時代のルーツは、この湖北地域であり、この事はお客様に大いに宣伝して下さい。「江戸時代は長浜から始まった」と言うって良いと思います。政治的なシステムは関ヶ原合戦の後、徳川家康が慶長七年江戸幕府を作って将軍になり江戸時代になるのですが、だと政治が変わっただけでそれまでの社会的・経済的システムが変わったわけではありません、徐々に秀吉政権がやっていったものが江戸時代に引き継がれただけで社会的・経済的システムは、秀吉や家臣が変えて行ったもので、その基礎が、長浜にあるのです。城下町もそう江戸時代の城下町のルーツは長浜にあるのです。我々はこれを強く主張する必要があります。



JRふれあいハイキング 秋コース

- ① 11月3日(日) 歴女も集まる年に一度の三成祭
長浜駅—観音寺—朽木旧街道—三成祭—足柄神社—長浜駅
(三成に想いを馳せ「三成祭」を楽しむコース)
- ② 11月6日(水) 後鳥羽神社と黄金に輝く120本の大イチョウ並木を歩く
田村駅—神田公民館—長浜農業高校—後鳥羽神社—田村駅
(見事に色ずいたイチョウ並木と農高ならではの体験を楽しむコース)
- ③ 11月8日(金) 竹籠作り体験と長浜古刹巡り
長浜駅—竹伊商店—知善院—大通寺—長浜駅
(有名な竹細工のお店での竹籠作りが楽しめるコース・焼肉弁当付き)
- ④ 11月23日(土) 満喫!秋の横山ハイキングコース
長浜駅—観音寺—横山城址—垣籠古墳群—長浜駅
(姉川の戦いの勝敗を決した横山城と古代ロマンの古墳群を楽しむコース)
- ⑤ 11月26日(火) ガラス細工を楽しみ、古民家巡りで老舗の商品独り占め
長浜駅—鉄道スクエア—黒壁・ガラス体験—大通寺—曳山会館—長
(ガラス細工体験と町家巡りを楽しむコース・焼肉弁当付き)
< 一般ガイドと同様にガイドへの応募をお願いいたします。 >

長浜出世まつり

長浜城の再興を記念して始まった秋の
—大イベントです。

- 10月 5日(土)・6日(日)
・アートインナガハマ
- 10月12日(土)
・長浜きもの大園遊会
・長浜火縄銃大会 10:00~12:00
- 10月13日(日)
・豊公まつり
- 11月 2日(土)
・長浜きものの集い

秋の観光シーズンだけなら

十月は天候に恵まれる観光シーズンで長浜でも数々の行事が計画され、沢山の皆様がお見えになります。お客様が「長浜に来て楽しかった」「また訪ねてみたい」と好印象で帰って下さると嬉しですね。ガイドをする機会も多いと思います。「おもてなし」を具体的に定義する事は難しい様にも感じますが、ガイドする人の「笑顔」も大きな要素ではないかと思えます。

秋の曳山巡行

10月12日(土) 9:00 ~ 16:00

例年春に開催していた「曳山交替式」を、今年から秋に移行し絢爛豪華な曳山八基を曳行する「秋の曳山巡行」として盛大に開催されます。

観音の里ふるさとまつり

10月20日(日) 9:00 ~ 17:00

高月町内の観音堂等が一斉に開帳され高月駅東口周辺では模擬店で賑わい、「巡回バス」が各観音堂を巡ります。

今後のスケジュール

- 十月 四日(金) 赤い羽根募金活動
- 十月 七日(月) 外国語研修
- 十月 八日(火) 観音まつりガイド
打ち合わせ
- 十月 十六日(水) 大通寺清掃(九時〜)
- 十月 十七日(木) 運営委員会
- 十月 二十六日(土) 県外研修申し込み
締切の日
- 十月三十一日(木) 全体集会
- 十一月 五日(火) 県外研修(岡崎)